

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和8年3月31日

2. 認定事業適応事業者の名称

リードケミカル株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

当社は創業より一貫して経皮吸収型製剤のスペシャリティファーマとして患者様のQOLの向上に貢献してきた。また、当社のサステナビリティ方針では、製品の開発から原材料等の調達、製造、お客様の使用・廃棄までの過程で、環境に配慮した事業活動を展開し、主体的かつ積極的に地球環境の保全と改善を推進することを掲げている。

本事業適応計画では、空調設備の燃料転換や廃水処理装置の更新、照明のLED化を行う事でCO2排出量を削減するとともに、新たに貼付剤製造ラインを導入することで付加価値額を増大させることで、基準年度と比較して、炭素生産性を目標年度に24.8%向上させることを目標とする。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2026年3月より事業適応を開始し、2027年5月(目標年度)までに、当社における事業者全体の炭素生産性を24.8%向上させることを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2026年度(計画終了年度)に経常収支比率を100以上とすることを目標とする。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業対応

(5) 計画の対象となる事業(日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード)

化学工業(16)

計画の対象となる事業は医薬品製造を主業としているため。

(6) 事業適応の具体的内容

計画初年度は、久金工場東の既存の貼付剤製造ラインの稼働率をあげて増産することで付加価値額を増大させる。以上により、計画初年度における炭素生産性を会社全体で15.7%向上させていく。

目標年度では、久金工場西の空調設備を重油からLPGに燃料転換することで、CO2排出量を削減する。また、新たに久金工場東に貼付剤製造ラインを導入することでCO2排出量を抑制しつつ付加価値額を増加させるとともに、廃水処理装置の更新及び照明のLED化によりCO2排出量を削減させる。以上により、目標年度における炭素生産性を会社全体で24.8%向上させることを見込む。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：2026年3月

終了時期：2027年5月